

【事業名】Location-GXコンソーシアム

【事業代表者】一般社団法人LBMA Japan

【共同事業者】ANAX 株式会社、株式会社unerry、株式会社プロゲ
ウォッチャー、ジオテクノロジーズ株式会社、株式会社データインサイト

目的

位置情報データを活用したCO2排出量の可視化、それに伴う国民の行動変容の増加をを最終目的としつつ、事業者が継続的にビジネスとして、脱炭素推進を実施し続けるための仕組みを業界団体としてコンソーシアムを構築します。

概要

「LocationGXコンソーシアム」は、位置情報活用を推進する非営利業界団体であるLBMA Japan がコアとなり、当団体の会員企業による 国民向けナッジ施策を推進することで、移動に関する行動変容に伴う脱炭素の取り組みを後押しします。

本プロジェクトでは、まず先立って、移動による行動変容促進のボトルネックであった共通基準の構築のため、移動によるCO2排出量とその行動変容に伴う脱炭素の計測基準を統一した『共通ガイドライン』を作成（2024年5月発表）しました。

LBMA Japanが移動におけるCO2排出量と脱炭素を計測・可視化する共通ダッシュボードを構築し、そこに繋げる共通APIを開発することで、当団体の会員企業による国民向けナッジ施策（デコ活推進事業）のビジネス化と継続発展を後押しします。

今回、当団体の共通ダッシュボード構築と共通API開発に加え、当団体の会員企業のうち5社が、共通基準のもとで各種価値提供を行うデコ活推進施策のナッジ施策を展開するという、共同事業開発を進めてまいります。